

R6年度事業名	幼稚園預かり保育事業
R5年度事業名	幼稚園預かり保育事業

総合戦略体系	313	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
--------	-----	--------------------------------	---------------------	----------

PLAN計画	部署名	保育・幼児教育課		開始年度	2001	終了年度	9999
	目的	教育時間以降、家庭での保育が困難な場合に園児を受け入れることで、保護者の利便性および児童の福祉、健康維持を行う。					
	概要	通常の教育課程による教育時間終了後(14:00～17:00)に、地域の実態や保護者の要請により、希望する者を対象に教育活動(預かり保育)を行う。＜片上幼稚園、北中山幼稚園で実施＞					
	法令等根拠		実施形態	内容	預り保育専門の教諭を2名雇用し、配置する。		
	現在	市直営					

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	預かり保育実施日数		日	目標値	190	190	190	230	230
				実績値	236	234	233	231	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	受入対応率		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100	100	
	計算根拠	受入者数/申請者数		達成率	100	100	100	100	
				実数値	2571/2571	2949/2949	3120/3120	3296/3296	
			ランク	A	A	A			
前年度ランク									
B、Cの理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	2,882	2,643	3,859	5,962	2,686		事業タイプ	補助(国)事業
	決算額	2,179	2,643	3,787	2,000	2,290		経費区分	人件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	4	1	211	幼稚園管理諸経費	49,763	2,400
	2	10	4	1	231	子育て支援活動推進事業費	350	286
	3							
	4							
	5以降							
							合計	2,686

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1	子ども・子育て支援交付金(国1/3県1/3)		1,600	
	2	雑入		78	
	3				
	4				
	5以降				
				合計	1,678

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	1
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ		
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ		
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み		
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
10	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	地域に保育所のない北中山幼稚園と片上幼稚園において、幼稚園の通常の教育時間終了後の午後2時から午後5時まで、保育の必要性の認定を受けた園児を園で預かり、家庭の子育てを支援する。 また、夏期休業期間においても預かり保育を実施する。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	地域に保育所のない北中山幼稚園と片上幼稚園において、夏期休業期間中も含め預かり保育を実施した。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	特になし
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	特になし
	R7方向性⇒	維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	病後児保育事業
R5年度 事業名	病後児保育事業

総合戦略 体系	313	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	--------------------------------	---------------------	----------

P L A N 計 画	部署名	保育・幼児教育課		開始年度	2005	終了年度	9999
	目的	保護者の都合により、家庭で保育が困難な病気回復期の小学校6年生以下の児童を病院等で一時的に預かることで、児童の福祉の向上を図る。					
	概要	病気回復期にあり保育に欠ける児童を施設にて預かる。					
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	病気回復期にあり保育に欠ける児童を施設にて預かる。		
	現在	民間等委託(全部)					

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	開設施設数		所	目標値	8	8	8	8	8
				実績値	8	8	8	8	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	利用申込者に対する受入率		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100	100	
	計算 根拠	受入者数/利用申込者数	達成率	100	100	100	100		
			実数値	150/150	104/104	204/204	147/147		
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

事業費

【単位：千円】

区分	2020	2021	2022	2023	2024
予算額	8,889	9,024	9,872	9,994	10,543
決算額	8,596	8,722	7,376	8,967	10,543

会計	一般会計
事業タイプ	補助（県）事業
経費区分	扶助費

歳出予算

No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額（千円）
1	3	2	9	301	病後児保育事業費	15,498	9,848
2							
3							
4							
5以降							
合計							9,848

補助金等

No	R6年度補助金等名称	金額（千円）
1	子ども・子育て支援交付金（国1/3県1/3）	6,328
2	病後児保育受託事業収入	174
3		
4		
5以降		
合計		6,502

事業要員	正規職員	0.25
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK 評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 （1はい・0いいえ）	☒ はい ☐ いいえ		
行政が実施すべき事業か。 （1はい・0いいえ）	☒ はい ☐ いいえ		
住民等のニーズは増えているか。 （2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み）	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み		
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 （1ない・0ある）	☒ ない ☐ ある		
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 （1ない・0ある）	☒ ない ☐ ある		
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
12	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。（2節減できている・1横ばい・0増加している）	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 （2向上している・1横ばい・0低下している）	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
業務プロセス（進め方・手続き）の向上を図っているのか。 （2向上している・1横ばい・0低下している）	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 （1いる・0いない）	☒ いる ☐ いない
財源（補助金等、受益者負担など）を確保しているか。 （1いる・0いない）	☒ いる ☐ いない
成果は目標を達成できているか。 （2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない）	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度

R6方向性⇒

維持

取組内容

齋藤病院「わらべ」と公立丹南病院「えくぼ」他市外6施設において、病気の回復期にある乳幼児を一時的に預かることで、保護者の仕事と子育ての両面に対する支援を実施する。

来年度へ向けて

R5年度の実績

病気の回復期にある乳幼児を一時的に預かり、保護者の仕事と子育ての両面に対する支援を実施した。

R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題

特になし

実績と課題を踏まえたR7年度の変更点

特になし

R7方向性⇒

維持

CHECK（次年度方向性の目安）とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名

市民主役事業にかかる額（単位千円）：0

R7年度事業名

市民主役事業にかかる額（単位千円）：0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	病児保育事業
R5年度 事業名	病児保育事業

総合戦略 体系	313	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	--------------------------------	---------------------	----------

P L A N 計 画	部署名	保育・幼児教育課		開始年度	2005	終了年度	9999
	目的	保護者の都合により、家庭で保育が困難な病気治療中の小学校6年生以下の児童を病院等で一時的に預かることで児童の福祉の向上を図る。					
	概要	病気治療中の児童で保育に欠ける児童を施設にて預かる。					
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	病気治療中の児童で保育に欠ける児童を施設にて預かる。		
	現在	民間等委託(全部)					

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	開設施設数		所	目標値	8	8	8	8	8
				実績値	8	8	8	8	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	利用申込者に対する受入率		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100	100	
	計算 根拠	受入者数/利用申込者数		達成率	100	100	100	100	
				実数値	668/668	712/712	962/962	729/729	
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

事業費

区分	2020	2021	2022	2023	2024
予算額	17,748	16,860	20,564	20,036	20,678
決算額	14,345	16,860	15,637	19,074	20,629

【単位：千円】

会計	一般会計
事業タイプ	補助（県）事業
経費区分	扶助費

歳出予算

No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額（千円）
1	3	2	9	302	病児保育事業費	28,566	20,678
2							
3							
4							
5以降							
						合計	20,678

補助金等

No	R6年度補助金等名称	金額（千円）
1	子ども・子育て支援交付金（国1/3県1/3）	13,092
2	病児保育受託事業収入	741
3		
4		
5以降		
合計		13,833

事業要員	正規職員	0.25
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK 評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 （1はい・0いいえ）	☒ はい ☐ いいえ
行政が実施すべき事業か。 （1はい・0いいえ）	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 （2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み）	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 （1ない・0ある）	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 （1ない・0ある）	☒ ない ☐ ある
合計 点数	12
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性

改善を行い、コストの削減を図っているのか。（2節減できている・1横ばい・0増加している）	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 （2向上している・1横ばい・0低下している）	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
業務プロセス（進め方・手続き）の向上を図っているのか。 （2向上している・1横ばい・0低下している）	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 （1いる・0いない）	☒ いる ☐ いない
財源（補助金等、受益者負担など）を確保しているか。 （1いる・0いない）	☒ いる ☐ いない
有効性	成果は目標を達成できているか。 （2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない）
	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度

R6方向性⇒

維持

取組内容

斎藤病院「わらべ」と公立丹南病院「えくぼ」他市外6施設において、病気療養中の乳幼児を一時的に預かることにより、保護者の仕事と子育ての両面に対する支援を実施する。

来年度へ向けて

R5年度の実績

病気療養中の乳幼児を一時的に預かることにより、保護者の仕事と子育ての両面に対する支援を実施した。

R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題

特になし

実績と課題を踏まえたR7年度の変更点

特になし

R7方向性⇒

維持

CHECK（次年度方向性の目安）とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名

市民主役事業にかかる額（単位千円）：0

R7年度事業名

市民主役事業にかかる額（単位千円）：0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	鯖江市保育協議会運営補助事業
R5年度 事業名	鯖江市保育協議会運営補助事業

総合戦略 体系	313	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	--------------------------------	---------------------	----------

PLAN 計画	部署名	保育・幼児教育課		開始年度	1970	終了年度	9999
	目的	鯖江市保育協議会の活動（保育士研修、講演会、保育園親子遊び等）を支援し、保育所間の交流を深め、保育の資質向上を図る。					
	概要	鯖江市保育協議会の運営費の一部を補助する。					
	法令等 根拠		実施 形態	内容	公立、私立保育所の園長、保育士、保護者、園児からなる協議会の事務局を市に置き、運営にあたる。		
	現在	市直営					

活動指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
講演会・研修会開催回数		回	目標値	6	4	3	3	3
			実績値	2	2	3	5	
計算 根拠	講演会・研修会開催回数/目標値		達成率	33.3	50	100	166	
			実数値				5/5	
			ランク	C	C	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	70	70	70	70	500		事業タイプ	単独事業
	決算額	70	70	70	70	500		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	3	2	3	602	保育協議会補助金	500	500
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	500

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)
	1	保育対策総合支援事業費補助金			250
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	250

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ				効率性 改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ				
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み				
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定	有効性 成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない
11	0点～8点 9点～16点	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善	維持または事務改善	

ACTION

今年度	R6方向性⇒	事務改善(手段・サービス水準の見直し)
取組内容	鯖江市保育協議会が実施する保育の質の向上にかかる研修費等への支援を拡充し、一部補助する。	

来年度へ 向けて	R5年度の実績	子育て講演会等により、保護者および保育者の連携強化や児童の健全な発達に寄与する活動を実施した。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	特になし
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	特になし
	R7方向性⇒	維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	保育カウンセラー事業
R5年度 事業名	保育カウンセラー事業

総合戦略 体系	313	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	--------------------------------	---------------------	----------

P L A N 計 画	部署名	保育・幼児教育課		開始年度	2005	終了年度	9999
	目的	保育カウンセラーにより市内の保育所に属する児童の心身の発達をサポートすることで、発達相談・支援体制の充実を図る。					
	概要	保育カウンセラー（臨床心理士など）が定期的に市内の保育所を訪問し、園児の状況把握、障害をもつ児童の指導等を行う。					
	法令等 根拠	保育カウンセラー配置事業補助金	実施 形態	内 容	市内の保育所の気かり児について、保育カウンセラーが定期的に園を訪問し、児童の指導および保育の仕方について指導を受ける。		
	現在	市直営					

D O 実 施	活動指標										
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025		
	訪問園数			目標値	22	22	22	23	23		
				実績値	20	22	23	23			
	成果指標										
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025		
	カウンセリング実施率		%	目標値	100	100	100	100	100		
				実績値	100	100	100	100			
	計算 根拠	カウンセラーした実児童数/カウンセラー対象実児童数×100		達成率	100	100	100	100			
				実数値	481/481	314/314	299/299	279/279			
				ランク	A	A	A				
前年度 ランク B、Cの 理由											

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,826	1,883	1,906	2,204	2,450		事業タイプ	補助(県)事業
	決算額	1,826	1,882	1,906	2,204	1,944		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	3	2	3	204	保育カウンセラー事業費	2,450	2,450
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	2,450

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1	保育カウンセラー配置事業費補助金(県1/2)		1,172	
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	1,172

事業要員	正規職員	0.15
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ		
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ		
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み		
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
12	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☒ 節減できている ☐ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	事務改善(手段・サービス水準の見直し)
取組内容	公私立保育園等に入園している児童の心身の発達をサポートするため、臨床発達心理士が定期的に保育所等施設訪問を行い、園児の状況把握、障がいのある児童や気掛かり児童に関する保育士への指導、保護者の相談等を行う。 相談のニーズが増えている為巡回回数を増とする。	
来年度へ向けて	R5年度の実績	公私立保育園等に入園している児童の心身の発達をサポートするため、臨床発達心理士が定期的な訪問の中で保育士への指導、相談等を行うことで児童の心身の発達をサポートした。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	特になし。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	特になし。
	R7方向性⇒	維持
CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由		

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	低年齢児保育充実促進事業
R5年度 事業名	低年齢児保育充実促進事業

総合戦略 体系	313	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	--------------------------------	---------------------	----------

PLAN 計画	部署名	保育・幼児教育課		開始年度	2005	終了年度	9999
	目的	0、1、2歳児担当の保育士を配置基準以上に配置することで低年齢児の保育を充実する。					
	概要	0、1、2歳児担当の保育士を最低基準以上に配置する保育園の人件費等の一部を補助する。					
	法令等 根拠	低年齢児保育充実促進事業実施要綱	実施 形態	内容	0、1、2歳児の保育士を最低基準以上に配置する保育園の人件費を補助する。		
	現在	補助金等交付					

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	実施私立保育園数		園	目標値	7	7	7	7	7
				実績値	6	4	9	11	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	入所希望者に対する受入率		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100	100	
	計算根拠	低年齢児受け入れ人数/低年齢児入所希望数		達成率	100	100	100	100	
				実数値	381/381	333/333	586/586	694/694	
				ランク	A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

事業費

【単位：千円】

区分	2020	2021	2022	2023	2024
予算額	16,263	14,784	35,482	49,525	59,400
決算額	15,646	13,675	16,262	42,768	39,798

会計	一般会計
事業タイプ	補助（県）事業
経費区分	補助費等

歳出予算

No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額（千円）
1	3	2	3	611	低年齢児保育充実促進事業費	64,152	59,400
2							
3							
4							
5以降							
						合計	59,400

補助金等

No	R6年度補助金等名称	金額（千円）
1	低年齢児保育充実促進事業費補助金（県1/2）	29,700
2		
3		
4		
5以降		
合計		29,700

事業要員	正規職員	0.25
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK 評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 （1はい・0いいえ）	☐ はい ☒ いいえ		
行政が実施すべき事業か。 （1はい・0いいえ）	☒ はい ☐ いいえ		
住民等のニーズは増えているか。 （2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み）	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み		
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 （1ない・0ある）	☒ ない ☐ ある		
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 （1ない・0ある）	☒ ない ☐ ある		
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
11	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。（2節減できている・1横ばい・0増加している）	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 （2向上している・1横ばい・0低下している）	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
業務プロセス（進め方・手続き）の向上を図っているのか。 （2向上している・1横ばい・0低下している）	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 （1いる・0いない）	☐ いる ☒ いない
財源（補助金等、受益者負担など）を確保しているか。 （1いる・0いない）	☒ いる ☐ いない
成果は目標を達成できているか。 （2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない）	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度

R6方向性⇒

維持

取組内容

0、1、2歳児が多く入所している私立保育園に対し、加配した保育士の人件費の一部を補助する。

来年度へ向けて

R5年度の実績

加配した保育士の人件費の一部を補助することで、3歳未満児の保育が充実した。

R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題

特になし

実績と課題を踏まえたR7年度の変更点

特になし

R7方向性⇒

維持

CHECK（次年度方向性の目安）とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名

市民主役事業にかかる額（単位千円）：0

R7年度事業名

市民主役事業にかかる額（単位千円）：0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	一時保育促進基盤整備事業
R5年度 事業名	一時保育促進基盤整備事業

総合戦略 体系	312	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出産・子育ての負担軽減
------------	-----	--------------------------------	---------------------	-------------

PLAN 計画	部署名	保育・幼児教育課		開始年度	2005	終了年度	9999
	目的	育児疲れ解消、急病、断続的短時間就労等、一時的に保育が必要となる児童を保育所にて預かることで、保護者の利便性および児童の福祉、健康維持を行う。					
	概要	育児疲れ解消、急病、断続的短時間就労等、一時的に保育が必要となる児童を保育所にて預かる。					
	法令等 根拠	子ども・子育て支援法	実施 形態	内容	一時的に保育が必要な児童を保育所にて預かる。		
	現在	民間等委託(全部)					

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	実施私立保育園数		園	目標値	8	8	8	8	8
				実績値	7	10	7	7	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	入所希望に対する受入率		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100	100	
	計算 根拠	年間延利用人数/年間延利用申請人数		達成率	100	100	100	100	
				実数値	721/721	1778/1778	1350/1350	2276/2276	
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

事業費

【単位：千円】

区分	2020	2021	2022	2023	2024
予算額	4,200	5,300	5,530	5,345	2,150
決算額	2,840	2,173	1,243	1,309	1,915

会計	一般会計
事業タイプ	補助(県)事業
経費区分	補助費等

歳出予算

No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	3	2	3	304	一時保育促進基盤整備事業費	1,815	2,150
2							
3							
4							
5以降							
						合計	2,150

補助金等

No	R6年度補助金等名称	金額(千円)
1	子ども・子育て支援交付金(国1/3県1/3)	1,356
2		
3		
4		
5以降		
		合計
		1,356

事業要員	正規職員	0.25
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK

評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	12
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度

R6方向性⇒

維持

取組内容

保護者が、仕事の都合、冠婚葬祭、入院等で一時的に家庭での保育が困難になった場合に、児童を預かる「一時的保育事業」を実施している私立保育所に対し、事業費の一部を補助する。

来年度へ向けて

R5年度の実績

一時的な保育を実施したことにより、利用保護者の利便性および児童の福祉、健康維持を図った。

R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題

特になし。

実績と課題を踏まえたR7年度の変更点

特になし

R7方向性⇒

維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

R7年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	私立保育所産休代替職員費補助事業
R5年度 事業名	私立保育所産休代替職員費補助事業

総合戦略 体系	313	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	--------------------------------	---------------------	----------

P L A N 計 画	部署名	保育・幼児教育課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	産休職員の療養の保障および代替臨時職員の雇用により児童処遇の安定を図る。					
	概要	私立保育園産休職員の代替臨時職員の賃金の一部を補助する。					
	法令等 根拠		実施 形態	内容	私立保育園産休等職員の代替職員の賃金の一部を補助する。		
	現在	補助金等交付					

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	実施私立保育園数		園	目標値	3	3	3	-	-
				実績値	0	0	0	0	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	対象園での産休職員配置率		%	目標値	100	100	100	-	-
				実績値	0	0	0	0	
	計算 根拠	産休代替職員数/産休職員数	達成率	0	0	0	0		
			実数値				0		
				ランク	C	C	C		
	前年度 ランク B、Cの 理由	補助の申請がないため							

事業費

区分	2020	2021	2022	2023	2024
予算額	1,008	672	672	0	0
決算額	0	0	0	0	0

歳出予算

No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	3	2	3	603			0
2							
3							
4							
5以降							
合計							0

補助金等

No	R6年度補助金等名称	金額(千円)
1	産休代替職員費補助金(私立)(10/10)	0
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員

正規職員	0.05
会計年度職員	
※所要時間	0

CHECK 評価

法令等により実施することが義務付けられているか。
(1はい・0いいえ)

はい

いいえ

行政が実施すべき事業か。
(1はい・0いいえ)

はい

いいえ

住民等のニーズは増えているか。
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)

増加する見込み

横ばい

減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。
(1ない・0ある)

ない

ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。
(1ない・0ある)

ない

ある

合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
8	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	事務改善または 廃止・休止
	9点～16点	維持または 事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)

節減できている

横ばい

増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)

向上している

横ばい

低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)

向上している

横ばい

低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。
(1いる・0いない)

いる

いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。
(1いる・0いない)

いる

いない

成果は目標を達成できているか。
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)

目標を達成できている

進展している

目標に向かっていない

ACTION

今年度

R6方向性⇒

休止

取組
内容

私立保育園において、産休職員の代替臨時職員の賃金が発生した際に、賃金の一部を補助する。

来年度へ
向けて

R5年度の実績

事業者からのニーズがないことから、R5年度より休止している。

R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題

該当なし

実績と課題を踏まえたR7年度の変更点

特になし

R7方向性⇒

休止

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度
事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円):

0

R7年度
事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円):

0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	私立保育所障害児保育補助事業
R5年度 事業名	私立保育所障害児保育補助事業

総合戦略 体系	313	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	--------------------------------	---------------------	----------

P L A N 計 画	部署名	保育・幼児教育課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	保育所における障がい児受け入れの円滑化、障がい児の保育の充実を支援する。					
	概要	私立保育園の障がい児童受入れの促進のため、障がい児受入れに対する費用の一部を補助する。					
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	私立保育所の障がい児受入に要する費用の一部を補助する。		
	現在	民間等委託(全部)					

活動指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
入園決定率		%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	
計算 根拠	入園障害児童数(在園児含む)/入園希望障害児童数(在園児含む)	達成率	100	100	100	100		
		実数値	18/18	12/12	8/8	6/6		
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	13,346	13,346	14,235	11,566	11,566		事業タイプ	単独事業
	決算額	12,456	12,826	9,861	7,117	5,338		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	3	2	3	604	私立保育所障害児保育措置費補助金	9,787	11,566
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	11,566

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ		
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ		
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み		
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
10	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	私立保育園の障がい児童受入れの促進のため、障がい児(重度)を受け入れている私立保育園に対し、費用の一部を補助する。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	保育所における障がい児受け入れの円滑化、障がい児の保育の充実に支援した。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	特になし
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	特になし
	R7方向性⇒	維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名		
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名		
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	ふれあい保育推進事業
R5年度 事業名	ふれあい保育推進事業

総合戦略 体系	313	『幸福寿命』で、さばえる！育てやす い暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	------------------------------------	---------------------	----------

P L A N 計 画	部署名	保育・幼児教育課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	保育所における中・軽度障がい児受け入れの円滑化、障がい児の保育の充実を支援する。					
	概要	私立保育園の中・軽度障がい児受け入れにかかる費用の一部を補助し、児童受け入れを支援する。					
	法令等 根拠		実施 形態	内容	私立保育園の中・軽度障がい児受け入れにかかる費用の一部を補助する。		
	現在	補助金等交付					

活動指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
入園決定率		%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	
計算 根拠	入園障害児数/入園希望障害児数		達成率	100	100	100	100	
			実数値	25/25	36/36	36/36	42/42	
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

事業費

【単位：千円】

区分	2020	2021	2022	2023	2024
予算額	15,867	14,691	20,253	21,094	22,041
決算額	11,900	12,536	20,253	19,686	22,041

会計	一般会計
事業タイプ	補助（県）事業
経費区分	補助費等

歳出予算

No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額（千円）
1	3	2	3	608	私立保育所ふれあい保育推進事業費補助金	22,918	18,805
2							
3							
4							
5以降							
合計							18,805

補助金等

No	R6年度補助金等名称	金額（千円）
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.25
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK 評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ			
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ			
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み			
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
10	0点～8点 9点～16点	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善	維持または事務改善

効率性

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)
☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。
(1いる・0いない) ☒ いる ☐ いない

有効性

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。
(1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない

成果は目標を達成できているか。
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)
☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度

R6方向性⇒ 維持

取組内容

心身の中軽度の障がいがある児童を保育する私立保育園に対し、費用の一部を補助する。

来年度へ向けて

R5年度の実績

保育所における中・軽度障がい児受け入れの円滑化、障がい児の保育の充実を支援した。

R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題

特になし

実績と課題を踏まえたR7年度の変更点

特になし

R7方向性⇒ 維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

R7年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	私立保育所延長保育事業
R5年度 事業名	私立保育所延長保育事業

総合戦略 体系	313	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	--------------------------------	---------------------	----------

PLAN 計画	部署名	保育・幼児教育課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	延長保育を行うことで、保護者の就労形態の多様化に対応する。					
	概要	延長保育を促進するため私立保育園にかかる事業費の一部を委託料として支出する。					
	法令等 根拠		実施 形態	内容	延長保育を促進するため私立保育園にかかる事業費の一部を委託料として支出する。		
	現在	民間等委託(全部)					

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	実施私立保育園数		園	目標値	12	12	12	12	12
				実績値	10	12	11	12	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	延長保育受入率		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100	100	
	計算 根拠	年間延利用児童数/年間延利用申込者数		達成率	100	100	100	100	
				実数値	7036/7036	6731/6731	5664/5664	4050/4050	
				ランク	A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

事業費

【単位：千円】

区分	2020	2021	2022	2023	2024
予算額	14,200	14,200	12,305	14,947	12,528
決算額	4,374	5,306	6,981	7,113	6,370

会計	一般会計
事業タイプ	補助(国)事業
経費区分	補助費等

歳出予算

No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	3	2	3	303	私立保育所延長保育事業費	11,760	12,528
2							
3							
4							
5以降							
合計							12,528

補助金等

No	R6年度補助金等名称	金額(千円)
1	子ども・子育て支援交付金(国1/3 県1/3)	8,352
2		
3		
4		
5以降		
合計		8,352

事業要員	正規職員	0.2
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK 評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ		
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ		
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み		
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
12	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度

R6方向性⇒ 維持

取組内容

保護者の就労や子育てを支援するため、早朝、夕方の延長保育を実施する私立保育園に対し、事業費の一部を委託料として支出する。

来年度へ向けて

R5年度の実績

延長保育の実施により、保護者の就労形態の多様化に対応するとともに、児童の福祉、心身の健康維持に寄与した。

R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題

特になし。

実績と課題を踏まえたR7年度の変更点

特になし

R7方向性⇒ 維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

R7年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	私立保育所運営事業(事務委託料)
R5年度 事業名	私立保育所運営事業(事務委託料)

総合戦略 体系	313	『幸福寿命』で、さばえる！育てやす い暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	------------------------------------	---------------------	----------

P L A N 計 画	部署名	保育・幼児教育課	開始年度	2005	終了年度	9999
	目的	市で行う入所事務の委託により、保護者の手続き等の利便性をはかる。				
	概要	私立保育園に入所に関する事務を委託する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	私立保育園に入所に関する事務を委託する。	
	現在	民間等委託(全部)				

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	私立保育園・こども園入園者数		人	目標値	500	500	1,800	1,800	1,800
				実績値	1,886	1,869	1,824	1803	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	取扱率		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100	100	
	計算 根拠	事務取扱人数/私立保育園入園児数×100		達成率	100	100	100	100	
				実数値	1886/1886	1869/1869	1824/1824	1803/1803	
				ランク	A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

タイプ	会計	一般会計
	事業タイ	単独事業
	経費区分	物件費

タイプ	会計	一般会計
	事業タイ	単独事業
	経費区分	物件費

No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	3	2	3	301	私立保育所運営事業費	2,108,331	3,331	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	3,331

事業要員	正規職員	0.25
	会計年度職員	
	※所要時間	0

効 率 性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☒ 節減できている ☐ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
有 効 性	市民団体や事業者にも業務委託しているか。 (1いる・0いない) ☒ いる ☐ いない
	財産(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
有 効 性	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

R6年度 事業名		市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度 事業名		市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	私立保育所管理運営補助事業
R5年度 事業名	私立保育所管理運営補助事業

総合戦略 体系	313	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	--------------------------------	---------------------	----------

P L A N 計 画	部署名	保育・幼児教育課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	私立保育所の運営の安定を支援し、保育所入所を希望する保護者の利便性への対応と入所児童のための保育を充実を図る。					
	概要	私立保育所の管理運営に係る費用を一部補助する。 ①人件費補助金、②0-157検査手数料補助金、③社会福祉施設整備事業借入金利子補給補助金、④退職共済掛金補助金 ②はR5年度廃止					
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	私立保育所の管理運営に係る費用を一部補助する。		
	現在	補助金等交付					

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	入所定員数		人	目標値	1,770	1,805	1,805	1,805	1,780
				実績値	1,770	1,805	1,805	1780	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	受入対応率		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100	100	
	計算 根拠	受入人数/入所希望者数		達成率	100	100	100	100	
				実数値	1886/1886	1869/1869	1824/1824	1803/1803	
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

事業費

【単位：千円】

区分	2020	2021	2022	2023	2024
予算額	63,945	64,000	64,155	64,273	64,391
決算額	61,419	61,297	63,992	63,382	62,072

タイプ

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	補助費等

歳出予算

No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	3	2	3	605	私立保育所退職共済掛金補助金	5,477	5,603
2	3	2	3	607	社会福祉施設整備事業借入金利子補給補助金	317	169
3	3	2	3	609			0
4	3	2	3	610	私立保育所人件費補助金	58,619	58,619
5以降							
合計							64,391

補助金等

No	R6年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員

正規職員	0.5
会計年度職員	
※所要時間	0

CHECK 評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	10
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

有効性

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度

R6方向性⇒ 事務改善(他事業との連携・統合)

取組内容

私立保育園13園の管理運営(心身ともに健康な児童に成長するよう保育および幼児教育を実施するのに必要な経費)に係る費用の一部を補助する。

来年度へ向けて

R5年度の実績

私立保育所の運営の安定を支援し、保育所入所を希望する保護者の利便性への対応と入所児童のための保育を充実を図った。

R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題

本来実施することが義務付けられている事業や補助のメニューが多いため、必要性等を精査する必要がある。

実績と課題を踏まえたR7年度の変更点

事業内容の精査と合理化をすすめるため、事業の統合を行う。

R7方向性⇒ 事務改善(他事業との連携・統合)

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

R7年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

取組可能な事業の詳細⇒

26 ページ

R6年度 事業名	幼稚園子育て支援事業
R5年度 事業名	幼稚園子育て支援事業

総合戦略 体系	313	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	--------------------------------	---------------------	----------

P L A N 計 画	部署名	保育・幼児教育課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	幼稚園が「親と子が共に育つ」という教育的視点から地域社会と連携しつつ家庭教育力の向上を図る。					
	概要	幼稚園児の保護者に対しては保育参観や保育参加の場の提供、未就園児親子には園舎・園庭を開放し、交流の場を設ける。また、子育て相談等の親の支援をする。					
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	毎月、未就園児親子に園舎や園庭の開放を行う。		
	現在	市直営					

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	市内4園子育て支援事業回数		回	目標値	40	40	4	4	-
				実績値	4	4	4		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	幼稚園子育て支援事業参加人数		人	目標値	2,000	2,000	900	900	-
				実績値	111	128	845	200	
	計算 根拠	市内幼稚園が実施している子育て支援事業における園児、保護者、未就園児数	達成率	5.6	6.4	93.8	22.2		
			実数値						
				ランク	C	C	B		
	前年度 ランク B、Cの 理由	利用ニーズ減少による。							

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	235	132	298	190	190		事業タイプ	単独事業
	決算額	133	132	169	177			経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	4	1	211	幼稚園管理諸経費	49,763	190
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	190

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)	
	1					
	2					
	3					
	4					
	5以降					
					合計	0

事業要員	正規職員	0.2
	会計年度職員	0.4
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ			
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ			
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み			
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
8	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	事務改善または 廃止・休止
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	事務改善(他事業との連携・統合)
取組内容	幼稚園を開放することで、地域の幼稚園に通っていないお子さんや在園児を対象に子育て支援を行う。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	幼稚園を開放することで、地域の幼稚園に通っていないお子さんや在園児を対象に子育て支援を行った。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	令和6年度より、幼稚園諸経費(維持管理)に統合した。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	幼稚園における事業規模が縮小されている現状および保育所、こども園において標準的な事業として実施していることを踏まえ廃止し、幼稚園諸経費に令和6年度より統合した。
	R7方向性⇒	廃止
CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由		

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	幼稚園食育推進事業
R5年度 事業名	幼稚園食育推進事業

総合戦略 体系	313	『幸福寿命』で、さばえる！育てやす い暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	------------------------------------	---------------------	----------

P L A N 計 画	部署名	保育・幼児教育課		開始年度	2007	終了年度	9999
	目的	食育基本法、鯖江市食育推進計画に基づき、幼稚園における食育推進を図る。					
	概要	野菜の育ちを知るための栽培活動、おやつ作りや伝統料理にかかわる調理実習体験(キッズキッチン)など幼稚園・保護者・地域をとりこんで実践活動を進める。また、保護者向けに食育に関する学習会を開催し、保護者とともに、幼稚園、家庭での食育を進める。					
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	栽培活動、収穫活動、調理体験等を通し、食育に関心を持っていただく。		
	現在	市直営					

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	幼児の朝食摂取率		%	目標値	100	100	100	100	-
				実績値	97	100	99	98.4	
	計算 根拠	朝食摂取者/園児数	達成率	97	100	99	98.4		
			実数値	109/113	93/93	80/81	62/63		
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	174	174	174	114	114		事業タイプ	単独事業
	決算額	100	112	129	93	0		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	4	1	211	幼稚園管理諸経費	49,763	114
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	114

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)
	1				
	2				
	3				
	4				
5以降					
				合計	0

事業要員	正規職員	0.2
	会計年度職員	0.4
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☐ 横ばい ☒ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	8
点数区分	0点～8点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止
判定	事務改善または 廃止・休止

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	事務改善(他事業との連携・統合)
取組内容	園の畑を利用した野菜づくり、調理体験を通じて園児の食への関心を高めるとともに、保護者向けに食育に関する学習会を開催し、幼稚園、家庭での食育を進める。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	野菜の育ちを知るための栽培活動、おやつ作りや伝統料理にかかわる調理実習体験(キッズキッチン)など幼稚園・保護者・地域をとりこんで実践活動を進め、また、保護者向けに食育に関する学習会を開催し、保護者とともに、幼稚園、家庭での食育を進めた。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	令和6年度より、幼稚園諸経費(維持管理)に統合した。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	幼稚園における事業規模が縮小されている現状および保育所、こども園において標準的な事業として実施していることを踏まえ廃止し、幼稚園諸経費に令和6年度より統合した。
	R7方向性⇒	廃止
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	幼稚園カウンセラー事業
R5年度 事業名	幼稚園カウンセラー事業

総合戦略 体系	312	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	出産・子育ての負担軽減
------------	-----	--------------------------------	---------------------	-------------

P L A N 計 画	部署名	保育・幼児教育課		開始年度	2008	終了年度	9999
	目的	保護者の悩みや不安に対するカウンセリングによる支援および教諭の資質向上を図る。					
	概要	不安のある保護者との面談をとし、子育ての不安や悩みの解消を図る。また、発達障害の疑いのある幼児の観察を行うと共に、その幼児への対応、援助の仕方等担任への指導を行う。					
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	専門職員を雇用し、スクールカウンセラーとして配置する。		
	現在	市直営					

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	カウンセラー派遣回数		回	目標値	28	28	28	28	28
				実績値	28	28	28	28	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	カウンセリング実施率		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100	100	
	計算 根拠	相談実施件数／相談申込件数*100		達成率	100	100	100	100	
				実数値	208/208	255/255	214/214	158/158	
				ランク	A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	336	336	336	336	336		事業タイプ	単独事業
	決算額	336	336	336	336	336		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	4	1	211	幼稚園管理諸経費	49,763	336
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	336

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	168

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ			
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ			
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み			
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
9	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	幼稚園カウンセラーが各園を訪問し、気掛かり児の対応についての担当教諭への指導、保護者からの子育ての悩み相談等に応じる。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	保護者の悩みや不安に対するカウンセリングによる支援および教諭の資質向上を図った。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	特になし。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	特になし。
	R7方向性⇒	維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	私立保育所施設整備費補助金
R5年度 事業名	私立保育所施設整備費補助金

総合戦略 体系	313	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	--------------------------------	---------------------	----------

P L A N 計 画	部署名	保育・幼児教育課		開始年度	2010	終了年度	9999
	目的	子育て支援対策臨時交付金(安心こども基金)による保育所整備事業を活用し、私立保育園の安全・安心を確保する。					
	概要	保育所環境整備などの施設整備に要する経費の一部を補助する。					
	法令等 根拠	就学前保育・教育施設整備事業交付要綱	実施 形態	内容	保育所・こども園の環境整備など、施設整備に要する経費の一部を補助する。		
	現在	補助金等交付					

	活動指標									
	指標名			単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難				目標値					
					実績値					
	成果指標									
	指標名			単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	採択率				目標値	100	100	100	100	100
					実績値	100	100	100	-	
	計算 根拠	採択件数/申請件数			達成率	100	100	100	-	
					実数値	4/4	2/2	1/1	0/0	
				ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由										

事業費

【単位：千円】

区分	2020	2021	2022	2023	2024
予算額	81,923	77,855	9,402	25,153	0
決算額	68,439	57,634	9,402	25,153	0

会計	一般会計
事業タイプ	補助(国)事業
経費区分	補助費等

歳出予算

No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	3	2	3	614	私立保育所等施設整備費補助金	16,490	26,052
2							
3							
4							
5以降							
						合計	26,052

補助金等

No	R6年度補助金等名称	金額(千円)
1	就学前教育・保育施設整備交付金	17,369
2		
3		
4		
5以降		
		合計 17,369

事業要員	正規職員	0.3
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK 評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	12
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない

有効性

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度

R6方向性⇒ 維持

取組内容

老朽化あるいは最低基準の維持のため保育所施設の増改築等に対し支援を行うことで、保育環境の改善や入所児童の安全・安心の確保と充実を図る。

来年度へ向けて

R5年度の実績

保育所施設の増改築等に対し支援し、保育環境の改善や入所児童の安全・安心の確保と充実を図った。

R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題

入所児童の環境改善及び入園ニーズに対応するため、増改築等の支援を行う。

実績と課題を踏まえたR7年度の変更点

特になし

R7方向性⇒ 維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

R7年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	幼稚園特別支援員配置事業
R5年度 事業名	幼稚園特別支援員配置事業

総合戦略 体系	313	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	--------------------------------	---------------------	----------

P L A N 計 画	部署名	保育・幼児教育課		開始年度	2006	終了年度	9999
	目的	幼稚園生活を送る上で、特別な援助や支援を必要とする園児に対して、個別に適応支援を行い、集団としての幼稚園教育活動の円滑な推進に資する。					
	概要	発達障がい、肢体等の障がいなどで支援が必要と認められる園児に対し、幼稚園内で生活支援、介助支援等の個別支援を行う支援員を配置する。					
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	支援員を配置し、特別な支援を必要とする園児に対し個別に支援する。		
	現在	市直営					

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	支援員数		人	目標値	7	6	6	6	5
				実績値	7	5	5	3	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	支援率		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100	100	
	計算 根拠	支援が必要な児童に対して支援する割合		達成率	100	100	100	100	
				実数値	7/7	5/5	5/5	3/3	
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	14,552	10,878	12,664	13,490	10,723		事業タイプ	単独事業
	決算額	11,654	10,878	7,210	8,073	4,814		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	4	1	211	幼稚園管理諸経費	49,763	10,723
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	10,723

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	0
	会計年度職員	5
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ				効率性 改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している 業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している 市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない 財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない 有効性 成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ				
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み				
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定	
9	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善	
	9点～16点	維持または 事務改善		

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組 内容	特別な支援が必要な園児に対して、個別に支援を行う。	

来年度へ 向けて	R5年度の実績	特別な支援が必要な園児に対して、個別に支援を行った。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 特になし	
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 支援が必要な園児に対する特別支援員配置は概ね達成しているが、安心して支援を必要とする園児が小学校等へ就学できるよう事業を継続する必要がある。	
	R7方向性⇒	維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	医療的ケア児推進事業
R5年度 事業名	医療的ケア児推進事業

総合戦略 体系	313	『幸福寿命』で、さばえる！育てやす い暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	------------------------------------	---------------------	----------

PLAN計画

部署名	保育・幼児教育課		開始年度	2018	終了年度	9999
目的	看護師が配置されていない保育所において医療的ケアを必要とする未就学の障害児に対して、医療的ケアの支援を行うことにより、介護者の負担を軽減し、地域での自立生活の基盤形成に資する。					
概要	地方公共団体において看護師を雇い上げた際の費用を補助し、医療的ケア児の受入れを行う。 保育所等に必要に応じて看護師を派遣する。					
法令等根拠	医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律	実施形態	内容	市で看護師1名を雇用する。看護師が休みの時には、訪問看護事業所に委託する。		
現在	補助金等交付					

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	入園決定率			目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	-	-	-	
	計算 根拠	入園医療的ケア児童数/入園希望医療的ケア児童数	達成率	100	-	-	-		
			実数値	1/1	0/0	0/0	0/0		
				ランク	A	-	-		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

事業費

【単位：千円】

区分	2020	2021	2022	2023	2024
予算額	3,021	3,690	6,688	3,797	3,499
決算額	2,874	3,074	3,035	3,302	3,499

タイプ	会計	一般会計
	事業タイプ	補助(国)事業
	経費区分	その他

歳出予算

No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	3	2	3	205	医療的ケア児支援対策事業	4,099	235
2							
3							
4							
5以降							
合計							235

補助金等

No	R6年度補助金等名称	金額(千円)
1	保育対策総合支援事業費補助金(国1/2 県1/4)	0
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	1
	※所要時間	0

CHECK 評価

法令等により実施することが義務付けられているか。
(1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ

行政が実施すべき事業か。
(1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ

住民等のニーズは増えているか。
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)
☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。
(1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。
(1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある

合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
10	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)
☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。
(1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない

有効性

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。
(1いる・0いない) ☒ いる ☐ いない

成果は目標を達成できているか。
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)
☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R6方向性⇒

取組内容 市が看護師を雇用し(看護師が休みの際には訪問看護事業所に委託)、医療的なケアが必要な児童を受け入れる施設へ派遣する。

来年度へ向けて R5年度の実績 看護師を雇用し、保育所において医療的ケアを必要とする未就学の障害児への医療的ケア体制を維持するとともに医療的ケア児ではないものの介助が必要な児童の自立支援を行った。

R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 小学校等の就学施設へ進級することも踏まえ、対象児が在籍する場合は学校との連携をより充実する必要がある。

実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 特になし

R7方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名

R7年度事業名

取組可能な事業の詳細⇒

38 ページ

R6年度 事業名	保育士修学資金貸付金
R5年度 事業名	保育士修学資金貸付金

総合戦略 体系	132	『世界に挑戦』で、さばえる！稼ぐ地域、魅力ある仕事をつくる	若者に魅力ある働く場の確保	若者の就労機会の確保
------------	-----	-------------------------------	---------------	------------

P L A N 計 画	部署名	保育・幼児教育課		開始年度	2019	終了年度	2024
	目的	保育士の資格を取得し、将来鯖江市内の保育所等において保育士の業務に従事しようとする方々に当該修学資金を貸付し、鯖江市の保育人材の確保と福祉の増進を図る。					
	概要	保育士の資格を取得し、将来市内保育所等において保育士業務に従事しようとする方に 修学資金を貸し付ける。5年間鯖江市内の保育所等で 保育業務に従事した場合、償還を免除となる。					
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	奨学資金の貸付		
	現在	補助金等交付					

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	広報数		件数	目標値	5	5	2	2	2
				実績値	5	2	2		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	貸付件数		件数	目標値	8	3	3	1	1
				実績値	2	0	0		
	計算 根拠			達成率	25	0	0		
				実数値					
				ランク	C	C	C		
	前年度 ランク B、Cの 理由	広報による周知等行ったが、申請がなかったため。							

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	2,880	2,520	1,080	360	360		事業タイ	単独事業
	決算額	2,160	720	0	0			経費区分	貸付金

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	3	2	3	702	保育士修学資金貸付金	360	360
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	360

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☐ ない ☒ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	7
点数区分	0点～8点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	事務改善または 廃止・休止

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	事務改善(業務プロセスの改善)
取組内容	市広報、HPのほか県社会福祉協議会、県内の保育士養成機関3施設への周知を行う。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	鯖江市内の保育所等で保育士業務に従事する意思のある方への広報周知を実施した。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	県社会福祉協議会の修学資金貸付募集期間および採択枠の増により、周知の時期等を再考する必要がある。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	関係機関への周知を行っているが、貸付希望者が0名となっている為、条例や制度を検証し、必要に応じて制度を見直す。
	R7方向性⇒	事務改善(業務プロセスの改善)
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	
	市民主役事業にかかる額(単位千円): 0
R7年度事業名	
	市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

R6年度 事業名	保育士さんウェルカム事業
R5年度 事業名	保育士さんウェルカム事業

総合戦略 体系	313	『幸福寿命』で、さばえる！育てやす い暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	------------------------------------	---------------------	----------

P L A N 計 画	部署名	保育・幼児教育課		開始年度	2021	終了年度	2025
	目的	市内民間保育園等へ新たに就職した保育士に対して、地場産品等の「就職お祝い品」を贈呈し、就職に対する付加価値を高め、保育士等の確保を図る。					
	概要	市内民間保育園、こども園に新たに就職した保育士に対して、就職先に鯖江市の保育園を選んでいただいたことへの感謝・歓迎とこれからの活躍を応援するため、各施設に出向き、地場産品等の「就職お祝い品」の贈呈を行う。					
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	就職お祝い品（地場産品等）の贈呈		
	現在	市直営					

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	全対象者への贈呈		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100	100	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	対象者の勤続率		%	目標値	90	90	90	90	90
				実績値	95.5	91.3	84.6	88	
	計算 根拠	単年実勤続人数/暦年対象人数	達成率	106.1	101.4	94	97.8		
			実数値	21/22	21/23	11/13	22/25		
			ランク	A	A	B			
	前年度 ランク B、Cの 理由	2023年度の対象者人数(採用人数)が少なかったため、対象者人数に占める退職者の割合が高くなってしまったため。							

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額		1,110	900	900	900		事業タイプ	単独事業
	決算額		615	615	345	705		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	3	2	3	208	保育士確保・定着支援事業費	19,447	900
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	900

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	0.08
	会計年度職員	0
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ				効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している			
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ					デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している			
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み					業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している			
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある					市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない			
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある								
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定	有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない			
10	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善		成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない			
	9点～16点	維持または 事務改善						

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組 内容	市内民間保育園、こども園に新たに就職した保育士に対して、就職お祝い品(地場産品等)を自分で選んでいただき、市長が各施設に出向き贈呈を行う。	

来年度へ 向けて	R5年度の実績	対象者に対し、各施設にて贈呈を行った。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	保育士の確保や定着のために、R3年度にはウエルカム事業等を実施し、市単独事業のほかに国や県の新しい事業も取り入れながら、現在、14の事業を実施している。保育士の人材確保については特効薬はないものの、いろいろな事業を複合的に進めていき、ウエルカム事業をはじめ、効果的に事業の情報発信をしていく。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	現在の新規採用保育士への贈呈品支給を廃止し、R6年度から実施している就職奨励金を統合し、事業を行う。
	R7方向性⇒	事務改善(他事業との連携・統合)
CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由		

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	保育士さんありがとう事業
R5年度 事業名	保育士さんありがとう事業

総合戦略 体系	313	『幸福寿命』で、さばえる！育てやす い暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	------------------------------------	---------------------	----------

P L A N 計 画	部署名	保育・幼児教育課		開始年度	2021	終了年度	2025
	目的	鯖江市内の保育所等に就職して一定期間経過した保育士等に対して、感謝の意を表し、感謝状および記念品を贈呈することで保育士等の職に対する意識の高揚につなげ、保育士等の離職防止および安定確保を図る。					
	概要	市内の保育園または認定こども園において、同一施設にて雇用継続年数が現在5年目、10年目もしくは20年目（R5より追加）となる職員（公立保育所、こども園、幼稚園における正規職員は除く。）に対し地場産品等の贈呈を行う。					
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	地場産品等の贈呈		
	現在	市直営					

活動指標									
指標名			単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
全対象者への贈呈			%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100	100	
成果指標									
指標名			単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
対象者の動続率			%	目標値	90	90	90	90	90
				実績値	91.3	86.7	97.2	94.6	
計算 根拠	単年実動続人数/暦年対象人数			達成率	101.4	96.3	108	105.1	
				実数値	21/23	26/30	103/106	35/37	
				ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額		615	395	1,690	850		事業タイプ	単独事業
	決算額		190	260	1,690	375		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	3	2	3	208	保育士確保・定着支援事業費	19,447	850
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	850

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)	
	1					
	2					
	3					
	4					
	5以降					
					合計	0

事業要員	正規職員	0.08
	会計年度職員	0
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ		
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ		
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み		
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
10	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	市内の保育園または認定こども園において、同一施設にて雇用継続年数が現在5年目、10年目、20年目となる職員(公立保育所、こども園、幼稚園における正規職員は除く。)に対し地場産品等の贈呈を行う。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	対象者106名に対し贈呈した。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	特になし
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	特になし
	R7方向性⇒	維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	若手保育士給与改善事業
R5年度 事業名	若手保育士給与改善事業

総合戦略 体系	313	『幸福寿命』で、さばえる！育てやす い暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	------------------------------------	---------------------	----------

P L A N 計 画	部署名	保育・幼児教育課		開始年度	2021	終了年度	2027
	目的	民間の保育所等に勤務して5年未満の職員に対して、給与改善手当を支給し、賃金体系の処遇改善を行い、安心して長く働くことができる職場環境を構築する。					
	概要	給与改善手当として対象職員一人あたりに対し、月額3千円相当額を補助する。					
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	民間若手保育士への給与改善手当を補助する。		
	現在	補助金等交付					

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	全対象者への支給		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100	100	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	対象者の勤続率		%	目標値	90	90	90	90	90
				実績値	92	92	86.7	90.5	
	計算 根拠	暦年実勤続人数/暦年対象人数		達成率	102.2	102.2	96.3	100.6	
				実数値	46/50	46/50	39/45	38/42	
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額		3,600	2,196	2,268	1,980		事業タイプ	単独事業
	決算額		1,689	1,692	1,584	1,446		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	3	2	3	208	保育士確保・定着支援事業費	19,447	1,980
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	1,980

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	0.08
	会計年度職員	0
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	9
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。 (2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	給与改善手当として対象職員一人あたりに対し、月額3千円相当額を補助する。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	対象者に対し月額3,000円の手当を支給した。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	特になし
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	特になし
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名		
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名		
	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	保育士等就職チャレンジ応援事業
R5年度 事業名	保育士等就職チャレンジ応援事業

総合戦略 体系	313	『幸福寿命』で、さばえる！育てやす い暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	------------------------------------	---------------------	----------

P L A N 計 画	部署名	保育・幼児教育課		開始年度	2022	終了年度	2024
	目的	保育人材の新規確保および離職防止を推進し、保育士等が安心して長期にわたり勤務できる職場環境を整備する。					
	概要	未就労の保育士有資格者等に対して、3日間の就労を限度に給付金を支給し、就労体験を通した職場復帰への不安の軽減およびミスマッチによる就職後の早期離職を防止する。またハローワーク等に市が取り組む保育士向けの支援事業を周知する。					
	法令等 根拠		実施 形態	内 容			
	現在	市直営					

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	就労体験人数		人	目標値		30	30	3	3
				実績値		2	1		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	就労体験者の雇用率 (雇用人数/就労体験人数)		%	目標値		80	80	80	80
				実績値		100	100		
	計算 根拠			達成率		125	125		
				実数値		2/2	1/1		
			ランク		A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額			1,120	415	31		事業タイ	単独事業
	決算額			31	31			経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	3	2	3	208	保育士確保・定着支援事業費	19,447	31
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	31

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	0.08
	会計年度職員	0
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ				効率性 改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ				
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み				
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定	有効性 成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない
9	0点～8点 9点～16点	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善	維持または事務改善	

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組 内容	ハローワーク等に市が取り組む保育士向けの支援事業を周知するためのリーフレット等を作成し、周知する。 また、鯖江市内保育所、こども園での就労体験者に対し報酬を支払う。	

来年度 の実績	雇用にはつながったが、利用人数は1名であった。
来年度へ 向けて	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 ハローワークや潜在的保育士や県内の保育養成校学生への事業内容の周知
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 事業の利用しやすさについて見直しを検討する。
	R7方向性⇒ 事務改善(手段・サービス水準の見直し)
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択		不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況		未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	
	市民主役事業にかかる額(単位千円): 0
R7年度 事業名	
	市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

R6年度 事業名	保育士等トライアル雇用支援事業
R5年度 事業名	保育士等トライアル雇用支援事業

総合戦略 体系	313	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	--------------------------------	---------------------	----------

PLAN
計画

部署名	保育・幼児教育課		開始年度	2022	終了年度	9999
目的	保育ニーズ拡大に伴い発生する児童受け入れの解消のために、非正規雇用を希望する保育士等を新たに雇用し、人材確保を行う事業主に対し、雇用に要する経費の一部を補助する。					
概要	潜在保育士が保育業務に従事するにあたり一定の期間を要するため、その期間の雇用者の持ち出し分(1日6時間未満で勤務する非正規雇用の保育士等の最初の2か月間の雇用)に要する経費について補助する。					
法令等根拠		実施形態	内容			
現在	市直営					

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	利用園数		園	目標値		5	5	5	5
				実績値		4	2	1	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	2か月経過後の雇用継続率(雇用者数/2か月継続者数)		%	目標値		100	100	100	100
				実績値		100	100	100	
	計算 根拠			達成率		100	100	100	
				実数値		4/4	2/2	1/1	
			ランク		A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

事業費

【単位：千円】

区分	2020	2021	2022	2023	2024
予算額			1,980	2,772	1,188
決算額			507	0	0

会計	一般会計
事業タイプ	補助（県）事業
経費区分	補助費等

歳出予算

No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額（千円）
1	3	2	3	208	保育士確保・定着支援事業費	19,447	1,188
2							
3							
4							
5以降							
合計							1,188

補助金等

No	R6年度補助金等名称	金額（千円）
1	保育士等トライアル就労応援事業費補助金（県10/10）	1,188
2		
3		
4		
5以降		
合計		1,188

事業要員	正規職員	0.08
	会計年度職員	0
	※所要時間	

CHECK 評価

法令等により実施することが義務付けられているか。
(1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ

行政が実施すべき事業か。
(1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ

住民等のニーズは増えているか。
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)
☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。
(1ない・0ある) ☐ ない ☒ ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。
(1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある

合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
9	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)
☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している

業務プロセス（進め方・手続き）の向上を図っているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。
(1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない

有効性

財源（補助金等、受益者負担など）を確保しているか。
(1いる・0いない) ☒ いる ☐ いない

成果は目標を達成できているか。
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)
☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R6方向性⇒

取組内容 トライアル雇用を活用した私立保育園、こども園に対し、費用の一部を補助する。

来年度の実績

R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 特になし。

実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 特になし。

R7方向性⇒

CHECK（次年度方向性の目安）とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択		不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況		未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名

R7年度事業名

取組可能な事業の詳細⇒

50 ページ

R6年度 事業名	保育士の働き方改革への巡回支援事業
R5年度 事業名	保育士の働き方改革への巡回支援事業

総合戦略 体系	313	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	--------------------------------	---------------------	----------

P L A N 計 画	部署名	保育・幼児教育課	開始年度	2022	終了年度	9999
	目的	保育士働き方改革支援コンサルタントによる保育所等の勤務環境改善に関する助言または指導を行い、保育士等が生涯働ける魅力ある職場づくりを行うとともに、保育士等の離職防止を図る。				
	概要	保育士の働き方の見直しや定着管理のマネジメント、勤務環境の整備等、業務負担軽減に関し、助言や指導の巡回支援や研修を実施する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内 容		
	現在	市直営				

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	巡回支援実施園数		園	目標値		13	15	11	11
				実績値		20	4	3	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	改善を実感した割合（園別で5割以上の園数）/実施園数		％	目標値		100	100	100	100
				実績値		80	100	100	
	計算 根拠			達成率		80	100	100	
				実数値		16/20	4/4	3/3	
			ランク		B	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額			3,000	1,600	940		事業タイ	補助(国)事業
	決算額			780	480	240		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	3	2	3	208	保育士確保・定着支援事業費	19,447	940
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	940

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)	
	1	保育対策総合支援事業費補助金(国1/2)			470	
	2					
	3					
	4					
	5以降					
					合計	470

事業要員	正規職員	0.17
	会計年度職員	0
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ			
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ			
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み			
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☐ ない ☒ ある			
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
9	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
有効性	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) ☒ いる ☐ いない
	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☒ いる ☐ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	事務改善(手段・サービス水準の見直し)
取組内容	保育士の働き方の見直しや定着管理のマネジメント、勤務環境の整備等、業務負担軽減に関し、助言や指導の巡回支援を希望する私立保育園、こども園へ講師を派遣する。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	公立保育園・こども園各1園、私立2園で実施した。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	園の課題と講師のマッチング
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	私立保育施設の業務負担軽減等のニーズを確認しその結果を踏まえ、各園が利用しやすくする。
	R7方向性⇒	維持
CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由		

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択		不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況		未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	保育士等資格取得支援事業費補助金
R5年度 事業名	保育士等資格取得支援事業費補助金

総合戦略 体系	313	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	--------------------------------	---------------------	----------

P L A N 計 画	部署名	保育・幼児教育課	開始年度	2022	終了年度	9999
	目的	保育士の有資格者の増加を図ることで、子どもを安心して保育できる環境を整備する。				
	概要	既に市内保育所等に就労し、資格取得を目指す保育補助者や市内保育所等の就労予定者に、保育士資格取得に要する受験料を補助する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内 容		
	現在	補助金等交付				

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	補助対応率			目標値		100	100	100	100
				実績値		100	0	100	
	計算 根拠	補助件数/申請件数		達成率		100	0	100	
				実数値		2/2	0	1/1	
						ランク		A	C
	前年度 ランク B、Cの 理由	申請対象者がなかったため。							

事業費

【単位：千円】

区分	2020	2021	2022	2023	2024
予算額			130	39	39
決算額			26	0	13

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	補助費等

歳出予算

No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	3	2	3	208	保育士確保・定着支援事業費	19,447	39
2							
3							
4							
5以降							
合計							39

補助金等

No	R6年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.02
	会計年度職員	0
	※所要時間	

CHECK 評価

法令等により実施することが義務付けられているか。
(1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ

行政が実施すべき事業か。
(1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ

住民等のニーズは増えているか。
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)
☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。
(1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。
(1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある

合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
10	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)
☒ 節減できている ☐ 横ばい ☐ 増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。
(2向上している・1横ばい・0低下している)
☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。
(1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。
(1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない

有効性

成果は目標を達成できているか。
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)
☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度

R6方向性⇒ 事務改善(手段・サービス水準の見直し)

取組内容

既に市内保育所等に就労し、資格取得を目指す保育補助者や市内保育所等の就労予定者に、資格を取得した際の受験料を補助する。

来年度へ向けて

R5年度の実績

市内認可保育施設へ周知を行ったが申請がなかった。

R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題

合格者のみ対象となるため、申請が少ない。

実績と課題を踏まえたR7年度の変更点

周知を定期的に行い、事業の浸透を促す。

R7方向性⇒ 事務改善(手段・サービス水準の見直し)

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択		不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況		未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

R7年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	就職奨励事業
R5年度 事業名	

総合戦略 体系	313	『幸福寿命』で、さばえる！育てやす い暮らしやすいまちをつくる	安心して結婚・出産・子育てができるまち	子育て環境の整備
------------	-----	------------------------------------	---------------------	----------

P L A N 計 画	部署名	保育・幼児教育課		開始年度	2023	終了年度	9999
	目的	現役の保育士等や保育士等を目指す者にとって魅力ある保育現場・職場づくりや生涯働くことができる環境を整備し、安定的な保育人材の確保を図るため、処 遇改善等を総合的に実施することを目的とする。					
	概要	県内在住者が保育士養成校を修了し、市内の私立保育所等に勤務した場合の奨励金を支給する。					
	法令等 根拠		実施 形態	内 容			
	現在						

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	対象者への支給			目標値				100	
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	対象者の動続率		%	目標値				100	
				実績値					
	計算 根拠	暦年実動続人数/暦年対象人数		達成率					
				実数値					
				ランク					
	前年度 ランク B、Cの 理由								

事業費

区分	2020	2021	2022	2023	2024
予算額					4,000
決算額					

【単位：千円】

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	

歳出予算

No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	3	2	3	208	保育士確保・定着支援事業費	19,447	4,000
2							
3							
4							
5以降							
合計							4,000

補助金等

No	R6年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員

正規職員	0.08
会計年度職員	0
※所要時間	

CHECK 評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☐ いいえ		
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☐ いいえ		
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み		
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☐ ない ☐ ある		
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☐ ない ☐ ある		
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☐ 横ばい ☐ 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☐ いない

有効性

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☐ いない
成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☐ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度

R6方向性⇒

取組内容

県内在住者が保育士養成校を修了し、市内の私立保育所等に勤務した場合の奨励金を支給する。

来年度へ向けて

R5年度実績

R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題

実績と課題を踏まえたR7年度の変更点

R7方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択				不可能	不可能
実施状況				未実施	未実施

R6年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円):

0

R7年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円):

0

取組可能な事業の詳細⇒